

特集 / 県産品・その販路と流通

広報くまもと 1964. 1 No. 168



新しい熊本の建設

熊本県知事 寺本広作

十千十二支とか、えととかいうのがありますね。いまから三千年ばかり前に、中国の殷王朝時代にできたものだそうですが、いまのように子をネズミ、辰を竜など動物をあてはめるようになったのは、戦国時代からのようです、これは当時の人たちがうみだした生活の知恵だったのでしょうか。

これからいけば、ことしは辰年だそうで、竜年ということになりますね。そこで竜とはどんなものだろうかと、ちよつとした興味にかられて調べてみました。「神話、伝説、物語中の怪物」となっていて、「よく国家が治まれば風雨を順調にして、魚産を豊かにする」というなれば、心正しいところには瑞祥となって現われるというようなものらしいのです。

熊本県は昨年、豪雪、長雨などの災害にも負けず農作物の一割増産を立派になしとげました。待望の新産都市の指定も獲得できました。みんなが心をあわせたからできたのです。新産都市も具体化するのはいくつかからです。農業の近代化、産業の工業化、人づくり。ことしこそ一段と頑張らねばなりません。へんなこじつけですが、そうしたらきつと辰年の瑞祥が、わたくしたちのものになること間違いありません。新年の明るい陽ざしのなかで、新しい熊本の建設をみんなで考えようではありませんか。

昭和三十九年元旦



目次

解説 県産品に関する七章

一 座談会

■ 県産品よもやまばなし

出席者・益子孝介・長岡登・森山昌敏
瓜生田光雄・馬渡親通

■ 氣勢あがる熊本みかん

— 五年目を迎えた熊本みかん取引懇談会 —

■ 産地ルポ

釣竿・白玉粉・球磨焼酎ほか

■ 第一線の人びと 県産品の旗手

よそもんの熊本正月・山本捨三

美しい村・山田とし

随 甘夏物語・鶴田源志

■ グラヒヤページ

□ 希望の年・一九六四年

□ 新春知事挨拶

□ 特集 / 市場のなかの「県産品」

□ カメラ・ルポ 第一線の人びと

□ 県政ハイライト

■ 資料 □ 工場誘致の条件

■ 物産館めぐり / 市場だよりその他

■ 表紙写真・肥後こま

35

37

24

17

4

3

15

7

6

25

34

16

26

8